

特別企画(セミナー・展示)

最新情報は <http://www.jma.or.jp/ai/> を check!

特別セミナー 聴講無料 定員:70名(当日先着順受付)

(2010年9月24日現在)

(敬称略)

A会場		11月24日(水)	11月25日(木)	11月26日(金)
10:00 10:30	企業の農業参入における課題(法規制等について)	直売所過渡期に勝ち抜く! 生産者と共に営み、儲けるこれからの直売所	世界への農業情報発信プロジェクト ~静岡県アグリクラブジャパン~	
10:45 11:30	ユビキタス環境制御システム(UECS) 生産施設の情報化・大規模化に対応したオープンなシステム	自然との共生をテーマにしたオフィスアーバンファームと 就農支援の取り組みについて	米国施設トマト栽培におけるキーテクノロジー	
11:45 12:30	これからの植物工場 ~最先端の技術と付加価値の高い植物栽培への挑戦~	日本の業界統一GAP「JGAP2010」の紹介と 農業界・流通業界の最新動向	これからの有休農地 ~新しい農園ビジネスの展望~	

B会場		11月24日(水)	11月25日(木)	11月26日(金)
10:00 10:30	電子タグ付きコンテナを用いた流通業務の効率化	カラービットの事例紹介	超高速認識カメレオンコードを活用した トレーサビリティシステム	
10:45 11:30	植物工場併設型店舗による「店産店消」と 微生物を活用した農法への取り組み	イオン農業プロジェクトの取り組み	生協宅配事業の農産物物流について	
11:45 12:30	卸売市場に求められる役割とは?	サイゼリヤが求めている野菜	世界に通じる食品安全 ~地域ブランド農産物の検査・認証について~	

特別展示

テーマ 植物工場研究開発・普及の新展開

内容 植物工場に関する研究開発・普及・研修・広報事業が、農林水産省と経済産業省からの大型予算により大学・公的研究機関において活発に行われています。これと並行して、地方自治体、学会、NPO そのほかの公的団体の活動が活性化しています。本特別展示コーナーでは、それらの現況と方向性を紹介します。

企画協力 農林水産省、経済産業省、千葉大学、愛媛大学、大阪府立大学

参加機関 千葉大学、愛媛大学、大阪府立大学、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、三重県農業研究所、明治大学、(独)産業技術総合研究所、豊橋技術科学大学、とよはしTLO、山口大学、日本生物環境工学会、沖縄型植物工場研究会、園芸学会、日本養液栽培研究会、NPO 法人植物工場研究会

※企画協力、参加機関等は変更となる場合があります。最新情報はホームページにてご確認ください。



会場構成 (イメージ)



出展者一覧

(2010年9月24日現在)

農業・園芸生産技術展 味の素、アヅマックス、アルケーウィル、アルツ、アルミス、イシグロ農材、岩崎電気、エーザイ生科研、エコニス、SUS、鹿島建設、カネコ種苗、カワバタ産業、関西産業、関東天然瓦斯開発、キャラバンイーエス、クボタ、クミアイ化学工業、小泉製麻/ケーアイエヌ、国際農業社、サイエンス・クリエイト、サンシン、サンホープ、サンボリ	シナジーテック、昭光通商アグリ、新農林社、スタンレー電気、誠文堂新光社、ソフト・シリカ、大興貿易、大道産業、テクノ・モリオカ、東海物産、東京電力、東洋バルブ、鍋清、ニシケン、日環エンジニアリング、日東紡、日本アドバンスアグリ、日本ポリ鉢販売、農業・食品産業技術総合研究機構、中央農業総合研究センター、農経新報社、農山漁村文化協会、パナソニック電工、ピアインシィ・バイオ、日立アプライアンス、ヒル・ラボラトリーズ・ジャパン	ファイトクローム、フルタ電機、北研、堀場製作所、ホルトプラン/ステラグリーン、汎農/B・N・ジャパン、マックス、松田精工、三菱電機、ムーディー・インターナショナル・サーティファイケーション、モキ製作所、リサール醸産、レフォルモ/AWARD PACKAGING INDUSTRIES	静岡製機、シミジマ、シンワ、鈴木特殊化工、住友ベークライト、精工、仙台昭和レーベル印刷、日報アイ・ピー、日本ポリスター、福島工業、ブルーナー・ジャパン、ベルグリーンワイズ、ホリアキ、ホリックス、森田エンタープライズ	小売向け青果物集中展示コーナー 越智今治農業協同組合、全国農業青年クラブ連絡協議会、ドール、ホクト、雪国まいたけ
		青果物流通・加工技術展 アズマ・コーポレーション、イオンリテール、大石産業、クイック・ロック・ジャパン、航空集配サービス、サタケ、サンステーションシステムズ	生産・農産物情報技術コーナー アグリコンパス、ソフトバンクモバイル、高崎共同計算センター、ビスク/日立ビジネスソリューション、日立ソフトウェアエンジニアリング、やまぐち産業振興財団、富士電機システムズ	品種マーケティング・開発コーナー サカタのタネ、日本デルモンテ、ハクサンインターナショナル
		海外 SORMA GROUP、Trinog-XS(Xiamen)Greenhouse Tech、TODAY EXPOSITIONS BEIJING		農業参入受入自治体コーナー 熊本県 農林水産部、福井県 農林水産部

今年の注目イベント

聴講無料 定員:70名(当日先着順受付)

11月24日(水) 14:00 ▶ 15:00

Agrizm 編集長公開インタビュー (Agrizm12月号続編)



Agrizm編集長荻原昌真氏×柿沢安耶氏
信州ファーム荻原の代表であり、Agrizm 編集長でもある荻原昌真氏と、世界初の野菜スイーツ専門店「パティスリーポタジエ」のオーナーである柿沢安耶氏の対談。



Agrizm12月号(10月16日発売)の編集長インタビューで2人の対談が掲載されていますが、このイベントはその続編。Agrizmでは、野菜スイーツが生まれた経緯が語られていますが、続編では柿沢氏が思い描く「楽しくおいしい世界」が明らかになります。未来の野菜ビジネス、野菜生活について2人に心行くまで語っていただきます。

11月25日(木) 14:00 ▶ 15:00

農業青年の独り言

全国農業青年クラブ連絡協議会の若者たちが、若者の発想で企画した「農業ビジネスプラン」。新しい野菜の開発や加工品の企画、新しい流通や販売の提案など若者ならではのビジネスプランを提案します。来場者だけでなく出展企業様に積極的にご参加いただき、興味のあるビジネスプランに対してどんどん商談していただくためのプレゼンテーションです。



11月26日(金) 14:00 ▶ 15:00

農業経営者トーク

(株)農業技術通信社 専務取締役 浅川芳裕氏×農業生産法人 有限会社さかうえ 代表取締役社長 坂上隆氏
著書「日本は世界5位の農業大国」でご存知の浅川芳裕氏と、今年の4月から九州大学の大学院に通っている坂上隆氏の対談。学生といっても、150haの作付面積で、青汁用ケール、ポテトチップ用ジャガイモ、焼酎用サツマイモなどを生産、提携メーカーへ全量出荷している農業法人有限会社さかうえの社長です。「契約数量・品質・納期は完全100%遵守」がポリシーの経営について語っていただきます。



浅川芳裕氏 坂上隆氏

※都合によりプログラムを変更する場合がございます。

出展者プレゼンテーションセミナー A会場 聴講無料

11月24日(水)	11月25日(木)	11月26日(金)
13:00 13:30	新鮮度保持フィルム「オーラパック」の新グレード発表 (株)ベルグリーンワイズ	JGAPの審査・認証について ムーディー・インターナショナル・サーティファイケーション(株)
13:45 14:15	味の素(株)が目指す 農業への貢献 味の素(株)	フミンで目指す「リスク低減型農業」の提案 (株)ピアインシィ・バイオ
14:30 15:00	驚きの低価格と高カバー率! ~最新のCOM残留農薬分析~ ヒル・ラボラトリーズ・ジャパン	家畜が消化しやすくするための飼料米破砕機 (独)農研機構 中央農業総合研究センター/ (株)デリカ
15:15 15:45	LED補光ユニットによる スイートピー落蕾防止 スタンレー電気(株)	夜間照明によるネモト光害(ひかりがいの被害)診断システムと光害を防止するLED照明 (財)やまぐち産業振興財団 (国立大学法人山口大学 農学部)
		物流で変わる販売力 ~多様化時代の農産物総合物流~ 航空集配サービス(株)
		土の健康診断と 中嶋農法の実践 エーザイ生科研(株)
		循環型農業への挑戦 ~環境保全と経営の両立~ イシグロ農材(株)
		特殊変形製袋加工業の 私達が提案できること (株)森田エンタープライズ

(2010年9月24日現在)